

事業概要

- 目的 福祉施設から一般就労への移行・就労定着の促進のため、就労移行支援事業所等の支援力の向上をめざす。
- 取組内容
 - ・ 就労系障がい福祉サービス事業所等の支援者としての心構えや就労支援に役立つノウハウを盛り込んだ「障がい者就労支援ガイドブック」(以下「ガイドブック」)の作成
 - ・ ガイドブックを活用して利用者を一般就労につなげるための研修プログラムの作成・実施(受講の主な対象:管理者・サービス管理責任者)

就労移行支援事業所・
就労定着支援事業所向け



就労継続支援事業所
(A型・B型)向け



効果検証

- 方法 令和5年度の研修受講者に対し、受講内容に関する実践内容とその効果についてアンケート調査を実施(令和6年3月から同年5月まで)
有効回答数:104 (研修受講申込者:367)

➤ 調査結果

1. 事業所内の支援者への指導等について、ガイドブックを使って実践したこと(複数回答)

- ・ ガイドブックを事業所に置き、事業所内でいつでも閲覧できるようにした。(79件;76.0%)
- ・ ガイドブックを使って事業所内研修を実施した。(57件;54.8%)
- ・ ガイドブックを使ってOJTを行った。(16件;15.4%)

【具体的な実践内容】

- ・ 事業所内の全スタッフにガイドブックを配布し、事業所内で読み合わせ、質疑応答を実施した。
- ・ 当事業所は福祉の経験のない支援者がほとんどであるため、まず福祉の基本を再確認した後、ガイドブックを参照しながら勉強会を開催した。
- ・ ガイドブックを参考に理解度テストを作成し、初任者研修やその他の研修で定期的実施している。
- ・ ガイドブックをもとに、事業所で起きた事例を通して解決方法やより良い支援について話し合い、支援者間で共有している。
- ・ 事例集を通して、障がい者に寄り添った支援とはどういうものか、支援者が考えるきっかけを作った。
- ・ 約1年前に開設した事業所で、就労支援経験のある支援者がおらず、一から勉強している状態。ガイドブックにおいては入社時に紹介はしていたが、なかなか定着していないのが現状。改めて周知する事で支援の質に向上につなげたい。
- ・ 事業所内研修など、学びの機会を増やした。ミーティング時間に意見を出し合いやすい環境づくりにつとめた。
- ・ 事業所内で(今回の研修の)伝達研修を実施し、就労支援とそのプロセスについて共通認識を深めた。

効果検証(続き)

2. ガイドブックや研修を通じて、支援者が利用者の支援において実践した効果

- 利用者との面談の質が上がった。(62件;59.6%)
- より質の高いアセスメントができた。(43件;41.3%)
- 一般企業へ就職させることができた。(16件;15.4%)
- 就職活動に進めることができた。(8件;7.7%)
- 企業実習に進めることができた。(5件;4.8%)

【具体的な効果】

- ガイドブックを読むだけでは理解し難い所もあるが、目の前の課題に沿ってガイドブックを活用した事で、支援者の理解力が高まったように感じる。
- 就労支援経験のない支援者がアセスメントをする際、各プログラムや面談の意味合い、記録のありかた、利用者との向き合い方など、あらゆる部分でガイドブックに関連した場面があった。
- 指導者が十分な説明の時間が作れない場合にガイドブックを参照してもらうことで、支援の場면을予習することができ、安心して支援ができた。
- 一般就労へのニーズの掘り起こしの必要性を支援者が理解し、利用者との面談でニーズを聞き取り、支援プログラムや作業においてよい支援に繋がった。
- 自己認識(障がい特性の理解)から始め、自身の強み、弱み、やりたい仕事、できる仕事を具体的に話せるようになるまで支援を進め、A型は就労における最終地点ではなく、次のステップへ上がるための訓練の場であることを伝えていく雰囲気が出来上がり、その結果3名の一般就労へつながった。

総括

- 就労支援の基礎を体系立てて説明したガイドブックは、特に経験の浅い支援者が、支援の基礎を習得するのに役立っている。
- ガイドブックを活用した事業所内研修により、事業所全体の支援力の向上にも寄与している。
- ガイドブックや研修を通じて、多数の事業所がより良いアセスメントができたと回答しており、結果として、福祉施設から一般就労へ移行する者は年々増加している。
- 就労支援はおろか、福祉の経験がない支援員が多くを占める事業所も一定数存在する。府内の事業所数は年々増加しており、今後もこういった事業所が増えることが予想される。このガイドブックが形骸化することがないように、引き続きガイドブックの活用を周知・促進する必要がある。



令和6年度就労移行等連携調整事業

**参加費
無料**

就労支援にかかわる方々へ

一般就労・定着に向けた 支援力向上研修

障がい者の就労ニーズや能力に応じた支援力の向上のための研修を実施します。本研修を通じて、一般就労への移行・就労定着の促進を図り、就労系障がい福祉サービスを中心とした地域との連携等の支援体制の構築をめざします。

受講対象者 就労移行支援事業所、就労定着支援事業所又は就労継続支援事業所（A型・B型）の支援員で、3年以上の実務経験がある方（職場適応援助者養成研修修了相当）

日時

8/6 火 10:00～16:15

場所

大阪府立男女共同参画・青少年センター
(ドーンセンター) 特別会議室



・京阪「天満橋」駅、Osaka Metro谷町線「天満橋」駅 ①番出入口から東へ約350m。
・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。②号出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

プログラム

10:00～10:50	就労選択支援事業（就労アセスメント等）の最新情報 <small>厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労選択支援専門官 鈴木 大樹氏</small>
11:00～12:00	地域連携・一般就労へのアセスメントについて <small>～就労の開始-継続段階の支援における地域連携の実践に関するモデル事業から見てきたこと～ NPO法人滋賀県社会就労事業協働センター 理事長 城 貴志氏 社会福祉法人あすこみっと 統括施設長 河尻朋和氏</small>
13:00～14:15 <small>グループワーク テーマ1</small>	就労選択支援事業を通して自身の事業所の就労支援力の 向上や地域連携をどう考えるか
14:30～15:00	就労定着支援事業の好事例 <small>社会福祉法人加島友愛会 Link 玉城由美子氏</small>
15:00～16:15 <small>グループワーク テーマ2</small>	就労定着支援のあるべき姿とは？

午前中の講義については、後日動画配信いたします。
午後のグループワークは、今年度中に、北摂地域、堺地域で開催予定（後日案内します）

お申し込み・お問い合わせ

申込締切
7月26日

認定NPO法人大阪障害者雇用支援ネットワーク
<https://www.workwith.or.jp/>

✉ o-isc@onyx.dti.ne.jp

☎ 06-6949-0350

お申し込みはこちらから
<https://bit.ly/3XaMz4u>



一般就労・定着に向けた支援力向上研修

実務経験のある支援者(職場適応援助者養成研修修了相当)に対し、さらなる支援力の向上のための研修を実施

- 8月6日(火)に実施
- 参加人数:60名
- より多くの支援者が受講できるように、講義を撮影した動画を配信予定
- 南大阪地域、北大阪地域の事業所も参加しやすいよう、グループワーク・就労定着支援事業所の好事例発表については、堺市内(11月)、豊中市内(2月)でも実施予定